

「滋賀県日野町」 「議会だより」 暮らしを支える農業と子どもたち



INDEX

特集 暮らしを支えるまちの農業	P2～3
委員会からの報告	P5～7
各議員一般質問に立つ	P8～21
議員のうごき	P22

5月15日に開催
された臨時会議および
6月1日から24日に
開催された
定例会議の結果を
お知らせします。

日野菜のPRキャラクター
あのなひのな



暮らしを支える まちの農業

日野町の
農業を
紹介するよ



議会の一般質問では年間を通して多くの議員から農業関係の質問が行われています。また産業建設常任委員会で行う「調査・研究」でも取り上げることが多い“農業”。今回は特にお米について特集しました。農業は耕作者ほか関係する人が多く町の基幹産業といわれています。米作りや現在の日野町の農業について注目してみました。

※役場農林課の協力と各専門機関発表の数字を利用して執筆しました。

ワンポイント

[日野米]

・日野町のお米はおいしいの？

日野町は中山間地が多く、粘土質で水持ちがよい田で栽培されるお米は良食味と評価されることが多いです。一方で圃場面積が小さく栽培管理の手間が多くなります。

[縁故米]

・縁故米とは

親戚や友人知人等に譲渡するもので数量把握が難しいですが一定数あると予想されます。

[農業連携について]

・大阪府泉大津市との農業連携について教えて

泉大津市は人口約71,500人、農地が3%の都市で、生産地と消費地が連携することで販売や調達に相互にメリットがあります。7月に同市で開かれるコメサミットに参加し、また10月に来町していただき双方の交流が進む予定です。



▲連携協定に基づき、令和8年度から日野町産の米が泉大津市の学校給食等で活用されます。

面積

- ・日野町の“田んぼ(圃場)”はどれだけあるの？
- ・中山間地って言われるけど急傾斜地(1/20)にある田んぼはどれだけ？

地区別面積では

※1ha(ヘクタール)は10,000㎡

地区名	面積(ha)	東京ドーム	中山間地(ha)
日野	262	56個分	0
東桜谷	315	67個分	7.2
西桜谷	198	42個分	0.3
西大路	224	48個分	17.2
鎌掛	111	24個分	0
南比都佐	182	39個分	18.2
必佐	390	83個分	0
計	1,682	359個分	42.9

※東京ドームの敷地面積は4.7ヘクタールです。

※中山間地の面積は急傾斜地(傾斜角度1/20)の補助を受けている面積です。

生産量

- ・主な品種はキヌヒカリ・みづかがみ・コシヒカリ・日本晴です。
- ・町内では毎年約5,000トンのお米が生産されています。
- ・町内で消費されるお米の量は？
 - … 一人あたり消費量×人口(約20,000人)=1,068トンと推定されます。
(参考:農林水産省発表一人あたりの年間の消費量は53.4kg)
 - … 他市町県外への移出は約4,000トンとなりますが、町内では他産地米もたくさん売られているのでさらに多くのお米が町外で消費されています。

就労者と金額

- ・就労者は何人？
 - … 2025年農林業センサスより578者
そのうち担い手(大規模)37者 営農法人9者
集落営農23者 小規模個人(兼業農家等)509者
- ・基幹産業って言われているけど生産量から見るお米の金額はどれだけ？
(〇億円?)
自家消費分や縁故米もあるので正確な数値はありませんが、5,000トンにキロ単価をかけると計算できます。〇〇億円かな？

お米以外の産品

特産日野菜のほか
次のような取組みがあります。

野菜 日野菜・キャベツ・トマト・ねぎ
穀物 麦・大豆
葉物 松・柿・ユーカリ



▲わたむぎねぎ

議会では、農業委員の皆さんの意見を町政に反映できるよう農業委員会との意見交換会を毎年開催しています。そこで今回は、日野町農業委員会の加納文弘会長に、町の農業の魅力や未来についてお話を伺いました。

「日野町の農業の魅力と未来」を教えてください

Q1.日野町の農業の魅力教えてください。

A.寒暖差と粘土質の土壌に恵まれ、おいしいお米が育ちます。
日野米のおいしさには自信があります。その魅力をもっと知って欲しいです。

Q2.子どもたちに伝えたいことは？

A.子どもたちの「おっちゃんのお米、おいしかったよ」の一言が、今でも忘れられない一番の励みです。
田植え、稲刈り体験だけでなく、ドローンなどを活用する新しい農業のやり方にも触れて農業の面白さを感じて欲しいです。

Q3.女性と農業について

A.女性のきめ細かな気配りや視点は、農業や地域づくりの大きな力です。
女性が地域を引っ張る存在として、今後の活躍に期待しています。

Q4.日野町の農業の未来は？

A.農業は農家だけでは守れません。地域や行政、集落、土地を持つ人など、みんなで支えていくことが、これからの日野町の農業には必要です。

Q5.農業はなぜ面白いのですか？

A.自然が相手なので毎年同じことはありません。工夫を重ね、その積み重ねを次の収穫につなげることが農業の魅力です。
「農業は毎年一年生」
自然が相手だからこそ、毎年新しい学びがあります。

農業は毎年違う。
だから面白い。



日野町農業委員会会長
加納文弘さん

日野町議会女性議員が
現場の声を伺いました

日野町女性農業者座談会

【参加者】
女性農業者5名
農業委員3名
女性議員3名



日野町議会の女性議員3名が座談会に参加し、日野町女性農業者さんと意見交換を行いました。座談会では、女性ならではの視点から、地域との関わりや農業への思いなど、貴重なお話を伺うことができました。
今後も現場の声を町政へ届け、議会活動に活かしていきます。



女性農業者への支援と
研修の充実

担い手・後継者
育成

食育の推進と
地元農業への
理解促進

女性農業者のみなさんの声

物価高騰への支援と
農業経営補助
制度支援

地産地消の推進と
販路拡大

学校給食への
地元野菜活用

提出された議案と結果

○賛成 ×反対

*議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否同数の場合のみ「議長採決」として表明します。

5月臨時会議(5月15日)

●全員賛成とした案件

番号	町長提出議案
議第1号	財産の取得について(庁内ネットワーク用ノートパソコンおよび周辺機器)

6月定例会議(6月1日~24日)

議案審査を付託された委員会
 【予算決算】予算決算特別委員会 【総務】総務常任委員会
 【産建】産業建設常任委員会

●全員賛成とした案件

番号	町長提出議案	付託先
議第2 ~16号	日野町農業委員会委員の任命について 加納文弘氏、石沢知恵子氏、満田久司氏、奥野正巳氏、高岡忠司氏、北岡寅吉氏、坪倉清司氏 奥村初代氏、谷田千代子氏、門谷幸夫氏、畠河正樹氏、岡静男氏、高木宗孝氏、三添浩幸氏 中野良造氏	—
議第17号	工事請負契約について(農村整備事業(農道・集落道整備事業)石子山トンネル長寿命化工事(その2))	—
議第18号	工事請負契約について(町道西大路鎌掛線道路改良工事(その13))	—
議第19号	工事請負契約について(町道西大路鎌掛線橋梁工事(その1))	—
議第20号	工事請負契約について(日野中学校体育館空調設備整備工事)	—
議第21号	町道の路線の認定について	産建
議第22号	令和8年度日野町一般会計補正予算(第1号)	予算決算
議第23号	財産の取得について(庁内ネットワーク無線化機器)	総務
議第24号	令和8年度日野町一般会計補正予算(第2号)	予算決算
議第26号	財産の取得について(庁内ネットワークサーバー等機器)	—

番号	議員提出議案
議第25号	日野町議会会議規則の一部を改正する規則の制定について

●賛否が分かれた案件

番号	提出議案	付託先 (結果)	結果	錦 戸	福 永	谷 口	松 田	柚 木	川 東	野 矢	山 本	高 橋	加 藤	後 藤	中 西	西 澤	*杉 浦
請願第5号	「食糧法」(主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律)の見直しをやめ国が主食の価格と需要に責任をもち、国民への安定供給を支えに十分な備蓄を行うことを求める請願書	産建 (不採択)	不採択	×	×	×	○	○	○	×	○	×	○	×	×	×	/
決議案第1号	皇室の安定的皇位継承を確保するための法整備の早期実現を求める 意見書決議について ※決議の内容については 二次元コードから ご覧いただけます	—	決議	○	○	○	×	×	×	○	×	○	×	○	○	○	/



予算決算 特別委員会

付託案件
2件



出典：厚生労働省ホームページ

福祉医療のオンライン化による利点は何か

ピックアップ 町単独福祉医療費助成事業 1,344万2千円

- 内容** マイナンバーカードによりオンラインで福祉医療の資格確認ができる環境を整えるためのシステム改修
- 問** マイナンバーカードによりオンラインで福祉医療費助成の資格が確認できることについての事務的効果と利用者の利点は何か。
- 答** 医療機関からの資格確認照会と受給資格データの正確性が向上する。また迅速な資格確認が可能となることから受給券を忘れても受診でき、過誤処理の減少も期待できる。

ピックアップ 担い手育成対策事業 220万6千円

- 内容** 認定農業者の経営改善に必要な農業用機械の導入支援
- 問** 令和2年の国勢調査では農業従事者は509人であった。この事業は農業の担い手が対象となると考えるが、509人の農業従事者のうち担い手となるのは何人か。またこの事業を受けるハードルは高いのか。
- 答** この事業の対象者は地域計画に位置付けられた農業者である。認定農業者は約60人、認定新規就農者は3名、農事組合法人は9法人であり、ハードルは比較的高いが、地域計画の実現に向けて取り組んでいただく農業者を支援していくものである。



庁内ネットワーク機器のセキュリティは安全か

ピックアップ 庁内ネットワーク無線化機器

- 内容** 無線アクセスポイント等の調達および設置工事により役場庁舎1階から4階でのWi-Fi環境を整えるもの
- 問** 住民サービスへの影響や外部へのセキュリティはどうか？
- 答** 屋根裏工事もあるが、町民の来庁や通常業務に支障が出ないよう、事前にスケジュール調整を厳密に行い、安全管理を徹底する。最新の暗号規格と高度な機器認証を定めており、国のセキュリティ基準にも合格している。

調査研究 自治会活動・運営について考える

- 内容** 人口減少と高齢化の進行で、家庭内の自助も地域の共助も弱まることから暮らしの再構築が必須。(いま、私たちができること2025より)
町では自治会活動アンケートや自治会へ依頼している「役」の見直し、補助金の見直し、進取のまちづくりフォーラム、自治会活動に関する意見交換会等が進められている。

総務 常任委員会

付託案件
1件

無線
アクセ
スポイ
ント



産業建設 常任委員会

付託案件
1件



町道・県道それぞれの管理と 将来を見据えた計画は？

ピックアップ 町道の路線の認定について

内容 新こども園建設に向け、出雲川沿いの河川管理道路を町道に認定

問 新こども園開園に向けての安全管理等の計画は？

答 新こども園開園時の保護者送迎導線や安全確保について、最善の注意を払いながら整備計画を進めていく予定である。

請願 審査

「食糧法」の見直しをやめ国が主食の価格と需要に責任をもち国民への安定供給を支えに十分な備蓄を行うことを求める請願書

ポイント 請願者(町内生産者)の実態を含めた国の見直し案の効果を検証する

反対討論 請願の趣旨は理解できるが国の見直し案は実態に基づいたものである。

賛成討論 この数年の主食を取り巻く混乱も含めて国は方針を再考するべきである。

調査研究 町道、県道等の移管、認定について

調査研究

地域福祉の“今”を調査

厚生常任委員会では、町が社会福祉協議会へ委託している事業について調査を行い、介護予防、若者支援、生活困窮支援など、地域福祉の現状と課題を確認しました。

●進む介護予防、追いつかない担い手確保

おたっしや教室や男性の運動教室、脳いきいきゲームリーダー教室、金曜サロンなど多くの事業が行われており成果をあげている。一方、運動サポーターや脳いきいきゲームの新たな担い手確保が課題となっている。

●若者支援は強化が必要

若者支援・不登校支援は、令和8年度から日野里山フリースクールへ子どもに特化した事業委託を開始し、社会福祉協議会への委託と併せて進めている。今後も関係機関との連携を強化し、支援体制の充実を図る。

●生活困窮・外国籍支援では新たな課題も

相談窓口の拡充や連携は進む一方、日本語の理解が難しい方もいることから必要な支援が届きにくい状況も見られる。

委員会としては関係機関の連携をさらに強め、支援体制の充実を図る必要があると認識します。

厚生 常任委員会

付託案件
なし



地域振興 対 策 特別委員会

5つの視点から現行事業の改善点を検証

若い女性が子育てや仕事、日々の暮らしについて将来像を描きにくい状況があるという課題に対しその状況を改善するためには5つの視点が必要ではないかと仮説を立てました。その視点で2回にわたり関連する18事業の検証を行いました。

必要な5つの視点

1. 働き方や就労支援の強化
2. 子育て支援施策の利用しやすさの向上
3. 地域とのつながりや若者の居場所づくりの充実
4. 生活環境や交通環境の改善
5. 情報発信の強化と相談体制の一元化

事業検証後のまとめ

若い女性が子育てに関して不安を抱かないための事業や、現代の働き方に関する悩みの解決につながる事業など、多様な取り組みが実施されており、日野町は決して子育てしにくい町ではないことを確認しました。

しかし、それらの事業の「見せ方」「届け方」「使われ方」には、改善の余地があり、事業の効果が十分に活かされていないことが判明しました。

今回出た結論を基に、何が必要なかをまとめ住民との意見交換会を経て、現行事業の改善提案と具体的な政策提言へとつなげてまいります。

さらなる議会改革に向けて!!

議会力 向 上 特別委員会

女性議員が働きやすい環境に向けて

女性が働きやすい環境づくりとして、委員会においてオンラインで参加できる環境整備に取り組もうと「Zoom」でテスト運用していくことを決めました。子どもなど家族が感染症にかかった場合に、自宅からの参加が可能になります。

政策立案、提言に向けての研修会を実施

昨年度から引き続き、地方公共団体政策支援機構から講師を招いた研修会を、6月9日に実施しました。今回は、午前「常任委員会の活性化について」午後は「広聴の取り組み」について、グループワーク形式で意見交換、発表しながら学びました。

若い世代、女性の考えを政策に結びつけるため、意見交換会を開催予定

町の課題と将来を考える上で、若者、女性の考えを反映させた町づくりを地域振興対策特別委員会で議論しています。そこで決めたテーマをもとに、10月から現地開催を2回、オンライン開催を1回実施していく予定です。

スタートした取り組み

- ・議員のなり手不足改善への取り組み
年度末までに報酬審議会に提言
オンライン参加のテスト運用
- ・予算・決算資料様式の改定を検討

今後の取り組み・課題

- ・常任委員会の機能強化
委員会開催前に議員間討議の実施
- ・意見交換会後のフィードバック
- ・広報・広聴の更なる充実（継続）

令和8年6月 一般質問内容および発言順序

町政全般に関する方針や事業について、
13人の議員が一般質問を行いました。

発言順序・氏名	質 問 内 容	ページ
1 谷口 ともや 智哉	1 「ともに創るまち」における住民協働と成果とは何か	P.9
2 福永 あきひと 晃仁	1 ひとづくりと青年教育 2 観光振興と住民の暮らし	P.10
3 後藤 ゆうき 勇樹	① 名神名阪連絡道路の進捗と町内IC設置について問う ② 日野の新たな文化創出と滋賀DCへの取組みを問う 3 本年度から始まった「子ども・子育て支援金制度」について問う	P.11
4 川東 あきお 昭男	1 農村下水道の公共下水道への接続について 2 マイナンバーカードの普及・利活用について	P.12
5 錦戸 ゆか 由佳	1 子どもたちの学習環境について	P.13
6 西澤 まさはる 正治	1 道路整備について	P.14
7 高橋 げんざぶろう 源三郎	1 日野中学校卒業生の同窓会に町から補助金を 2 路肩に繁茂する雑草除去の管理責任者は誰か	P.15
8 野矢 たかゆき 貴之	1 行政が主体的に役の整理に取り組むべきでは	P.16
9 山本 ひでき 秀喜	1 「日野町こども家庭センター」の運営は 2 生きづらさを抱える子どもたちをみんなで支え合う町づくりは	P.17
10 松田 ようこ 洋子	1 中学校の給食無償化はどうなる 2 燃油資材高騰による町内業者・福祉施設への影響と町の対応	P.18
11 加藤 かずゆき 和幸	1 騒音・低周波公害の訴えとその対策 2 林業センター休日貸室停止について	P.19
12 柚木 きくお 記久雄	1 日野町結婚新生活支援補助金の制度利用拡大にむけて 2 綿向山冬季登山者の交通手段を考える	P.20
13 中西 けいこ 佳子	1 結婚支援の充実について 2 幼児教育・保育の充実について	P.21

議会だよりでは、3つ以上一般質問がある場合、スペースの関係で○のついた番号の質問と答弁を掲載しています。

本会議の様様をインターネットで配信しています。
(ライブ中継・録画中継)

一般質問において議員が使用した資料をインターネットでご覧いただけます。



一般質問の
録画視聴ができます



一般質問の配付資料を
ご覧いただけます



問「ともに創るまち」における住民協働と成果とは何か

答 住民が地域課題に主体的に取り組み、計画が目指す状態に近づくこと



たにぐち ともや 議員
谷口 智哉



問

本来、役場として目指すべき成果とは、事業を実施することそのものではなく、町民の皆さんの行動や意識の変化を促すことではないかと考える。

そのためには、行政だけが動くのではなく、町民の皆さんと一緒にまちづくりを進めていくことが大切であり、その中で役場がどのような役割を果たすべきなのかを改めて考える必要があると感じている。

そこで今回は、第6次日野町総合計画にある「ともに創るまち」という言葉について、その意味を改めて整理し、住民の皆さんとも共有できるような質問をしていく。

答

この言葉は、第6次日野町総合計画でめざす未来像を現し

たものになり、その思いには町の課題に対して行政だけではなく、住民や企業、地域団体など、町に関わるすべての人が力を合わせて取り組み、価値ある地域社会を築いていこうという考えが込められている。「住民一人ひとりを大切にする社会」「地域全体で課題を共有し、持続可能で元氣な未来を目指すこと」を重視し、住民と行政が協力して歩むことが、この理念を実現するうえで欠かせないと考えている。

この「ともに創るまち」という言葉には、人々の絆を大切にしながらよりよい未来を作っていこうという目標が込められており、その思いを胸に、皆さんと共に実現に向けて取り組んでいく。

問

住民が主体となつて取り組んでいくという観点からみて日野町の強みは何か。

答

日野町の強みは自分達の集落や町

のことは自分達で考えてやっていくという姿勢であり、そのことからくる「自治力」にあると考える。

問

総合計画において、行政の役割とその成果指標はどのような位置づけられているか。

答

行政の役割は、総合計画各分野の目標や施策を実現するために具体的な取り組みを進めること。その成果は、住民意識調査やデータを活用して進捗を確認しながら、計画で掲げた目標の達成を目指している。

また、住民の役割については、計画作成の段階から住民の参加を重視し、計画の実行では「住民自治」を中心に行政と住民が協力する形が重要と考えている。この協力により、住民が地域課題に主体的に取り組み、計画が目指す状態に近づく

問

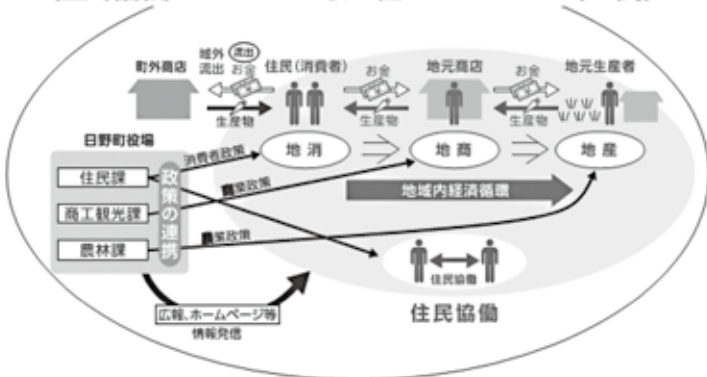
住民が主体的に取り組む「住民協働」が重要であるならばその成果や目標はどのようなに共有し、どのように主体的な行動につなげていく事が理想ととらえているか。

答

「住民協働」を成功させるには、めざす姿や課題解決の方向性を住民と行政がしっかりと共有し、住民の主体

的な行動につなげることが重要である。具体的には、日常的な情報共有を進め、地域課題に住民が積極的にかかわる仕組み作りをめざし、行政は住民活動を支援する場や人材育成を進め、地域団体やNPOへの支援を強化し、行政と住民が「ともに創るまち」という実感が得られる環境を整えていきたい。

住民協働でみんなで取り組むまちづくり(一例)



問ひとづくりと青年教育

答 地域づくりの主体者として関わっていただける
青年教育を進めます



ふくなが あきひと
福永 晃仁 議員



問 人口減少や地域
コミュニティの担

答 ①青年・若者世代
は地域を中心とな

い手不足が進む中で青年・若者世代への教育や地域活動を通じた育成は、単なる人材確保ではなく、自ら課題解決に関わる住民を育てる営みとして重要であると認識しています。当町においても、これまで青年団や女性会活動、公民館や子ども会活動など、社会教育を基盤とした地域づくりの歴史が積み重ねられてきました。その蓄積を現代に生かし、未来へつなぐために今回は現在の20歳から40歳までの青年層に対する町の施策の現状と方向性について伺います。

①青年・若者世代の地域参画についてどのような課題認識を持っているか。現在行っている施策は。②子ども期の16年プロジェクトやふるさと学習を青年期以降へどのようにつなげていくのか。また、どのようなひとづくりを進めていく考えか。

①青年・若者世代は地域を中心となり引っ張って頂きたい存在ですが、考えの多様化や価値観の違い、繋がりの希薄化などにより地域活動に参画する機会が減少していると捉えています。現在の施策として教育分野では「二十歳のつどい」実行委員や公民館活動、少年少女スポーツ教室の指導者等で活躍いただいています。また、若者会議や少年センターでの学習支援、青年団活動などでも地域に向けた取り組みが行われています。

②当町での豊かな学び・体験こそがシビックプライドを育み、誇りを持って青年期における地域参画に繋がる「土壌」になると確信しており、今後のまちづくりを担っていただく大切な主体者であってほしいと考えています。青年・若者世代の感性やライフスタイルに寄り添いながら青年教育の推進に努めてまいります。

問 観光振興と住民の暮らし

答 歴史文化・教育・地域経済がつながる観光施策を進めていきます

問 観光は地域文化の継承、地域経済の循環、関係人口創出、さらには住民のシビックプライド醸成にも大きく関わる重要政策であります。近江日野商人の文化、日野祭を始めとした祭り、町並み、農村風景、近江日野田舎体験など、他地域にはない独自資源を有している一方で、「観光資源としての認知不足」「滞在型観光の弱さ」「情報発信力」「民間連携」「担い手不足」などが大きな課題と感じ、伺います。

答 ①体制について、マンパワー等十分でありませんが限られた体制の中で成果をあげるために各課の垣根を越えた取り組み、民間との連携が必要です。デジタル分野においては発信の体制等仕組みの整備が必要と考えています。日野観光協会とは月一回の定例ミーティングなどを通じて、観光振興の両輪として施策の推進に努めております。

②小中学生を対象に、地域の自然・歴史文化・産業に触れる「ふるさと学習」の継続、学習成果の情報発信やジュニアガイドを通じた観光振興への参画を検討します。当町の資源である「人の魅力」や住民が普段着の言葉で語る「日常の暮らし」は優れた観光コンテンツの一つであります。社会教育活動を通じて「多様な世代の語り部」育成にも努めていきます。

▼日野町観光ビジョンの基本戦略と優先度

戦略	事業内容	優先度
魅力ある観光地づくり		
人気コンテンツの充実	花の日野の観光の充実 歴史・文化等の学びを取り入れた観光の充実 田舎体験を通じた都市農村交流の充実	高 高
集客コンテンツの充実	エコツーリズム等の自然を活かした観光の充実 スポーツや健康、子育てと関連した観光の充実 町内外の人が楽しめるイベントの強化	高 高
新たな観光商品づくり	時代に即した新たな観光コンテンツの造成 日野町らしいお土産品や特産品づくり 日野町ならではの食の充実	高
受入体制の整備促進		
受入体制の充実	観光案内機能の充実 案内看板やトイレ等、観光客が過ごしやすい施設整備と町内周遊促進 町ぐるみで受け入れる風土づくりや宿泊施設の誘致、支援の充実	高
観光人材の育成	観光従事者をはじめとした、町民全体のホスピタリティの向上 意欲ある観光関連事業者等への支援	高 高
観光情報発信の強化		
観光地としてのイメージ戦略	観光地としての町内外へのイメージづくり 映画やCM等のロケ地、アニメ舞台の誘致	高
観光情報の発信	多様な媒体の特性を活かした情報発信の強化 メディアへの情報提供や連携体制の確立	高
広域化や国際化に対応した観光の促進		
県内観光連携	甲賀市や東近江市等、近隣市町と連携した観光ルートの確立	高
インバウンドへの対応	外国語表記や外国語対応等の環境整備	

問 名神名阪連絡道路の進捗と町内にIC設置について問う

答 地元の熱い思いを県・国へ届け早期着工を目指す



ごとう ゆう き
後藤 勇樹 議員



問 名神名阪連絡道路は、産業振興や防災力向上、国道307号の渋滞緩和と交通の安全に不可欠な基盤である。

日野町議会は本計画への反対者を除く12議員で名神名阪連絡道路整備促進日野町協議会議員連盟を組織し、県担当者による勉強会を開催するなど、早期着工に向け活発な活動を行っている。現在、国・県において計画の具体化に向けた調査・検討が進められているが、次の4項目を問う。

- ①今年度の進捗予定と事業の現在地について。
- ②町内へのインターチェンジ（IC）設置について。
- ③周辺道路の整備とまちづくりへの影響について。
- ④広域連携と促進活動の強化について。

答

①県による第2回目の広域意見聴取結果の分析や、将来の交通流動・整備効果を分析しているところである。現在は第4回目の有識者

会議に向けた準備段階で、事業主体やスキームについて国と県が協議を進めている。

②ルート帯が示されていないためIC設置場所の要望はしていない。

③町内では新設道路の整備要望が多く、今後、本道路計画のルート帯が示されれば要望されている町内道路整備と連携させ整備に取り組む。

④沿線の東近江市、甲賀市、伊賀市、日野町に加え、名張市、近江八幡市、湖南市、竜王町の6市2町で組織する期成同盟会で、中央要望、近畿・中部地方整備局、各県への要望を行っている。今年度は東京で促進大会も開催され、機運を高めている。

◆要望とつて

ルート帯が未定だからこそ、町内へのIC設置を強く要望し、それに沿ったルート案を提示すべき。
町内企業とも連携し、町内ICが実現した場合の経済効果や、それに伴う雇用や税収への効果を試算し、具体的な数字を示すことにより、町内世論の後押しを得ることが大切。税収増は町民福祉向上に直結していることを、あらゆる機会に町民に周知していく努力を期待する。



→6月10日、名神名阪連絡道路整備促進甲賀市議会議員連盟の正副会長と事務局の皆さんが訪問され、杉浦議長と日野町協議会会長の後藤副会長の野矢議員が出席しました。

問 日野の新たな文化創出と滋賀DCへの取組みを問う

答 新田の文化融合という視点を参考にしながら取組みたい

問

過去の文化遺産を守り継承する取り組みに加え、令和の時代の新たな文化創出についての認識を問う。また来年度に開催される滋賀デザインエキシビジョンキャンペーン（DC）に向けてどのようなコンテンツ創出を予定しているのか。どのような形態での受け入れを考えているのか伺う。

答

新たな文化創出は、日野を日野たらしめている歴史文化を原動力とし、町民が主体となって生み出されるものと認識している。滋賀DCは令和9年の本番に向け本年のプレ、令和10年のアフターと開催される27年ぶりのイベントで、本町の魅力を内外に



▲日野町には国指定の重文をはじめ、多くの文化財があります。今年度からのDCではこれらの周遊イベントなども期待されています。

公共ライドシェアの実証実験を実施し、公共交通の運行を検討していく。

発信する絶好の機会と捉えている。議員からのご提案いただいていたように、町内の神社仏閣等にスポットを当て、周遊を促す企画の調整を現在進めている。自然面でも風景や暮らし等の日野らしさに光を当てた取組みを進めたい。DC開催にあたり日野駅等からの2次交通のあり方を検証すべく、期間中の土日祝日に

問 農村下水道の公共下水道への接続について

答 県の計画に基づき、接続の完了は令和27年度を目指す。9施設はそれぞれ状況が異なるため、今後組合と協議し、各施設の方向性を決定していきたい



かわひがし あき お
川東 昭男 議員



問

人口減少のなか、町内にある9つの施設の老朽化問題、農村下水道の公共下水道への接続について、町の方針を問う。

①現在、農村下水道の課題は何か。

②県は農村下水道の公共下水道への接続について、どのようなスタンスか。また、県の方針を受けた町の方針は。

③公共下水道への接続を具体的に進める上で、接続順や優先度、地域の要望の把握など町の考えは。

④公共下水道の接続により、将来、農村下水道利用者も公共下水道利用者も「加入金や使用料」など基準の統一を目指すべきと思うが、町の考えは。

答

①施設の老朽化の課題。人口減少問題と維持管理費用の課題。技術職員の確保と育成の課題。

②滋賀県の琵琶湖流域別下水道整備総合計画において、令和27年度を目標

に下水道の概成を目指し、それまでに農村下水道を公共下水道へ接続するとされている。町は、公共下水道への接続完了目標年度を令和27年度として今後取り組みを進めていく。9施設はそれぞれ状況が異なるため、今後、具体的な検討を進めていく中で、各施設の方向性を決定していきたい。

③例えば、複数の施設がある東桜谷地区などは、流域下水道の接続点に近い施設から進めることが基本と考える。それ以外の地区については、維持管理組合で接続の意向が示された地区から接続していくことになる。と考える。

④公共下水道は、物価高騰等により県の単価が値上がり、令和10年4月から町の公共下水道使用料を値上げする方向で検討中。農村下水道使用料は、現在の人数割料金から水道使用量に比例した従量制料金への移行に向け、検討を開始していきたい。

問

マイナンバーカードの普及・利活用について

答 普及率の向上と利活用の推進、国への要望とサービスの充実をめざす

問

①マイナンバーカードの普及が進まない要因は年齢層の分析が必要ではないか。

②カードを持っていない町民への対応は。又、カードの福祉医療受給者証との連携をどうするのか。

答

①全国データによると保有率が最も低いのは

0～4歳(63.3%)
5～9歳(73.8%)
10～14歳(76.8%)
と続きます。

一方、最も高いのは
75～79歳(96.1%)
55～59歳(91.4%)
65～69歳(87.0%)
と続きます。当町も傾向は同じで、低年齢層の普及が課題。

②カード未登録には資格確認書が自動送付され、受診できます。福祉医療受給者証は、令和9年4

◇要望として
農村下水道の公共下水道への接続は、県も町も令和27年度を目指す計画。あと19年、一日も早く、組合との議論をお願いしたい。

月からカードで資格確認できる仕組みを進めている。

③紛失された場合は、利用停止・遺失届のうえ役場住民課で再交付申請ができる。手数料は通常1,000円、急ぎの場合は特急発行(2,000円・最短5業務日)をご利用いただけます。

④マイナンバーカードの追記欄の記載方式は、制度上の課題があると認識。国の制度改正を注視する。

◇要望として

マイナ保険証の限度額認定証の機能で、本人の所得によって異なる高額療養費を判定し、後日申請しなくても医療費が請求されるのは便利です。福祉医療受給者証も来年度実施の予定。制度開始から10年「有効期限通知書」が自宅に郵送されている方も増えてくると思います。利活用も増えており、必ず更新をお願いしたい。

子どもたちの学習環境について

答 タブレットと紙教材を組み合わせ学びの質を向上させる



にしき 錦戸 由佳 議員



→ 議場での発表の様子



※GIGAスクール構想とは小・中学生全員にタブレット端末を整備し、子ども一人ひとりに合った学びや、友だちと協力しながら学ぶ授業を進めるための国の取組です。

問 町ではGIGAスクール構想により、約5年前から児童生徒に1人1台、タブレット端末を活用した学習が進められている。導入後、実際に子どもたちがどのような環境で学んでいるのか。また、今後どのように学びやすい環境づくりに進めていくのかについて質問しました。

→ 6年生の学習発表の様子



①GIGAスクール構想導入後、学習環境や授業はどう変わったのか。
②現在の学習環境をどのように考えているのか。
③実際の学習状況を確認しているのか。
④机上スペースを含めた学習環境を検証しているのか。
⑤家庭学習の環境差をどう考えているのか。
⑥今後、町はどのような教育環境を目指すのか。

答 ①タブレットの使用により、児童生徒の考えを共有しやすくなり、協働的な学びが進んだ。外国語学習では、音声を繰り返し聞くことや、AIDリルで一人ひとりの理解度に応じた学習ができるようになった。
②授業の目的に応じて、教科書・ノート・タブレットを計画的に使っている。児童生徒自身が、どのように学ぶかを考え、実践する力を高めることも大切だと考えている。
③毎年5月から6月頃にすべての学校・教室を訪問し、授業の様子を確認している。また、授業研究会や授業力向上パートナーシップ事業でも授業参観を行い、教職員の指導力の向上や学びやすい環境づくりにつなげている。
④子どもが自分で学習環境を工夫する力は大切だが、環境整備も教育行政の役割である。机上スペース

⑤通信環境の差は課題として認識している。貸出用ルーターを40台整備し、申請により貸し出しをしている。現在の利用実績は6台。端末の使い方は、持ち帰り前に学校で指導している。
⑥ICT活用を推進する上で町では
・個別最適な学び
・協働的な学び
・情報活用能力の育成
・ICT機器の安全で効果的な利用
の4つを大切にしている。
令和8年度には全校に電子黒板、タブレット端末を整備し、令和9年度から活用する。ICTはあくまで学びを深めるための道具であり、目的ではないと考えている。一人ひとりの学ぶ力と、仲間と学び合う力を育てることが重要であり、自分に合った学び方を身につけ

られる教育を進めていきたい。

今後、AIDリルを活用した学習の様子を学習参観などで保護者にも見てもらい、タブレット活用への理解を深めていただくことも大切である。

→ 小学校での様子



◆要望として

導入から5年が経過した今、子どもたちの声を聞きながら学習環境の実態を確認し、机上スペースを含めた学びやすい環境づくりを進めるよう求めました。また、家庭学習支援や保護者への情報提供の充実を図り、一人ひとりの可能性を伸ばす教育につなげていただきたいと要望しました。

問 道路整備について

答 生活の利便性が高まるよう、引き続き県と連携した取り組みを進めます



にしざわ まさはる
西澤 正治 議員



問

日野町は国道307号の整備に

よって第一・第二工業団地をはじめ、株式会社ダイフクなど多くの企業進出が実現しました。道路整備はまさに「経済の血管」とも言われる重要な事業であります。先人が将来を見据え、人が集まり、物が流れ「道路は財をなす」との言葉の通り、今日の町財政を大きく支える基盤となっていることは疑いありません。現有する道路環境を適切に整備し続けることは、極めて重要な課題であります。そこで、道路整備について、当局の取組姿勢を質してまいります。

②現在、町内には国道307号・477号、主要地方道2路線、県道9路線

が整備されています。夏期には道路沿いの草木が繁茂し、交通の妨げとなることが懸念されます。国道・県道の維持管理と東近江土木事務所への対応方針について伺います。

答

①議員連盟の設立については、令和5年4月1日に全線が重



▲6月29日に開催された設立総会

要物流道路の指定がされて以来、進展がない状況下の中で、当町において議員連盟を立ち上げていただくことは、地域全体の機運を高め、早期実現に向けた熱意を国や県に伝えられるものと受け止めており、早期実現に向けて取り組む事務者や期成同盟会、実現する会等の後押しになるものと考えております。

②国道・県道の維持管理と東近江土木事務所への対応については町からの

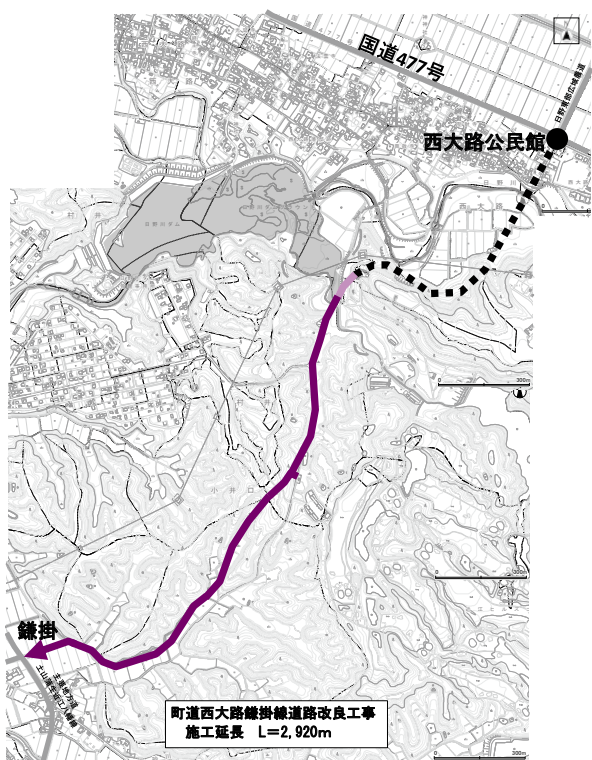
報告に対して速やかな対応を求めています。

③町道小御門十禅師線では今年度必佐小学校より内池地区側に向かって歩道の新設工事を延長する予定です。今後の対応については、引き続き内池地区側の用地及び補償契約業務を進め、早期の工事完了を目指します。町道西大路鎌掛線では、今年度より道路改良工事と橋梁新設工事の2本立てで、工事を進める予定です。今後の対応について

は、引き続き高額の事業費が必要となることから、予算の確保に努め、継続して道路整備と橋梁整備ができるよう取り組みを進めます。

④国道307号バイパスの早期実現に向けた今後の取り組みについては、来年度に滋賀県道路整備アクションプログラムが更進される予定であることから、滋賀県と事前協議を進め、アクションプログラムに採択されるよう取り組みを進めます。

町道西大路鎌掛線 全体図



問 日野中学校卒業生の同窓会に町から補助金を

答 若い世代の声やニーズをしっかりと調べる必要がある



たかはし げんざぶろう
高橋 源三郎 議員



問

日野中学校卒業生の同窓会に、条

件付きで町から補助金を出してはどうかと提案します。なぜこのような補助金を出す必要があるのかということですが、結論的には「少子化対策に有効と考えるからです。なぜ有効かと言いますと、日野町の若者の「婚姻率」を上昇させるのではないかと考えるからです。

若い男女の結婚の機会など、職場やサークル活動などが開けています。それゆえ多くの若者はいずれ結婚し家庭を築きたいと考えています。しかし、そのためには結婚適齢期と言われる時期に男女の出会いの場がどれくらいあるか、というのも一つの大きな指標です。20才代から30才代にかけて、そうした出会いの場はやはり必要なのです。その一つのチャンスが同窓会です。中学校を卒業して、「はい、さよなら」ではなく、年に

一度か数年に一度、同窓会を開き顔を合わせることは非常に大事な機会であり、且つまた心が和むものです。こうした時間こそ独身の男女にとって出会いの大切な機会であり、相手に対して思わぬ発見もあるものです。そして、それが縁となって将来を共にするきっかけともなります。あるいはまた知人を紹介してもらう機会ともなります。

よって、そうした同窓会に対して次の5つの条件付きで補助金を出すべきと考えますが、町の考えを伺います。

・日野中学校卒業生の同窓会であること。

・補助金は一人あたり2千円〜3千円とし、一回の補助金の上限は10万円以内とする。

・会場は日野町内の料理店とする。

・この補助金は一年に一回までとし、また中学校を卒業後35才までとする。

・補助をするにあたっては「同窓会補助金要項」を作る。

答

全国のいくつかの自治体では、若者の同窓会開催を支援し、Uターンや移住、男女の出会いを促す取り組みが行われています。こうした同窓会を通じて地域への関心や愛着を深め、定住や少子化対策につなげることは参考にすべきと注視しています。よってこの補助制度の創設には若い世代の声やニーズを調べ、効果等慎重に検討する必要がありますが、また全国的事例も参考にします。



問 路肩に繁茂する雑草除去の管理責任者は誰か

答 県は道路愛護活動事業として地元等へ委託している

問

日野町内には様々な道路が走っており、そのほとんどがアスファルト舗装されています。しかし所によって路肩の草が伸び放題になっている所も見受けられ、そうした所は往々にして官有地である場合があります。しかし現実はその路肩に隣接する土地の所有者または耕作者等が定期的に草を刈っておられるのが実情だと思います。

答

道路の路肩の雑草除去の管理責任については、道路管理者が管理するものとなっています。町としては、町道の主要な幹線道路については、シルバー人材センターや土木業者に委託しています。よって自治会や個人への委託については、現時点では行っており、その計画もありません。

しかし県では、県が管理する道路の植栽管理や路肩の除草管理については、地域で組織された団体などに対して委託金を支払うという形をとっておられます。

よって町としては今後、県と同じような取り組みができないか研究してまいります。

町道の路肩の雑草除去は、以前の質問では年に一回刈るのが精一杯だとのことですが、それならシルバー人材センターはじめ自治会やあるいは個人も含めて、管理をすべて委託してはどうかと思います。町の考えを伺います。

問 行政が主体的に役の整理に取り組むべきでは

答 その通りだ。しっかりと情報を整理していきたい



の や たかゆき
野矢 貴之 議員



問

西大路地区では
西大路地区人権啓
発推進協議会と西大路地
区社会福祉協議会が発展
的に統合し、「西大路地区
人権と福祉のまちづくり
協議会」が発足した。一方、
行政がまとめた資料には
「町から依頼している役
の見直し」は最重要課題
とされ、町長公約でも「役
の整理に取り組む」とあ
るが、はたして。

答

① 今回の統合は、
意義深い取り組み
であり、参考事例として
他地域にも紹介したい。
② 人権と福祉は一体的に
取り組むものである。し
かし、現状は連携できて
おらず、それぞれの会議
でそれぞれに研修を企画
してそれぞれ出席依頼を
している。このままでは
住民負担は変わらない。
取り組みが重複しないよ
うにする必要がある。
③ 今後の自治会支援につ
いては役員を選ぶ工夫な
ど事例紹介や意見交換の
場を設ける。集落支援員
が各地域の情報収集に努
める。地域の役の目的や
役割一覧を整理して可視
化することについては可
能性を検討している。
④ 役を減らすことが目的
ではなく、未来に対して
どういう形がいいのか、
議論することがまさに大
事である。「町はどうなん
だ」というのはおっしょ
る通りだ。しっかりと情
報を整理していきたい。

▼西大路地区人権と福祉のまちづくり協議会設立総会の資料



問「日野町こども家庭センター」の運営は

答 つどいのひろば「ぼけっと」の預かり事業で展開している



やまもと ひで き
山本 秀喜 議員



問

令和4年6月に児童福祉法が改正され、町では令和6年4月に「日野町こども家庭センター」が子ども支援課に設置されています。

答

子ども家庭センターは、これまで児童福祉や母子保健事業が果たしてきた役割をもとに、妊産婦や乳幼児の健康保持・増進、子どもや家庭に対する包括的な支援を提供していくことが目的です。

国が設置を求めた背景は、核家族化や地域社会の変容等があり、とりわけ未就園の場合は、子育てが家庭が社会からの支援につながらずに、地域の中で孤立しがちな傾向にあります。こうした中において、児童福祉(町では子ども支援課)と母子保健(町では福祉保健課)の両機能が一体的に相談支援できることを求めたものです。

取組内容は、子育て世帯の孤立防止や児童虐待の未然防止を図るため、早い段階から支援が必要なものや、家庭と関わりをもつことを重要視しています。町ではつどいのひろば「ぼけっと」での預かり事業や「すくすくひろば」などを実施しています。



▶ガイドブックの問い合わせは、子ども支援課
☎52・6583まで

◆要望とつて

設置から2年が経過し、結果的にサポートプランの作成に至ったのかと問いに対して、関係課による協議は行っているが、これまでの実績はないとの回答があり、機能の強化を求めました。

問

生きづらさを抱える子どもたちを

みんなで支え合う町づくりは

答

「子ども家庭センター」を中心に体制を整えていく

問

子どもたちを取り巻く状況は、虐待、いじめなどから不登校、引きこもりなどが増えている傾向であると言われ、環境や境遇の変化次第では誰にでも起こりえることだと思っています。

子どもたちを取り巻く状況は、虐待、いじめなどから不登校、引きこもりなどが増えている傾向であると言われ、環境や境遇の変化次第では誰にでも起こりえることだと思っています。

学齢期では約100件です。不登校は全国的に増加が続いていますが、日野町の新規数は減少傾向です。

そのような環境の中で、最も大事なのが、家族愛で育まれ、行政、学校、地域、支援団体が一体となつての支え合いです。その現状、②至る背景から、今、実施している対応策、③みんなで支え合う町づくりについて伺います。

答

①児童虐待は、就学前では50件余り、

子どもと家庭の孤立を防ぎながら、誰もが安心して暮らせる共生社会を推進してまいります。

②虐待は貧困、親の特性、子どもの特性、環境など様々な事情が複雑に絡み合っており、そのため、スクールカウンセラーや子育て・教育相談センターにおいて、子育てや教育に関する継続した心理相談を行い、虐待の予防に努めています。

③「子ども家庭センター」を中心とした、就学前からの専門的な心理的支援等が受けられる体制が整うことは、虐待や不登校等を予防、改善につながると考えています。

左の二次元コードから一般質問で使用した出典資料を見ることができます。「子ども家庭センター」の重要な役割が記載されています。



問 中学校の給食無償化はどうなる

答 安全で安心できる給食の提供の充実



まつだ ようこ
松田 洋子 議員



問

①小学校で生じる補助金との差額分を、町独自の財源として中学校給食費の負担軽減に充てるという考えはあるのか。

②町単独で無償化が困難なら、半額補助や多子世帯支援など段階的な負担軽減策を検討したことはあるのか。

③中学校給食費無償化は国の財源措置が前提なのかそれとも将来町独自で実施の可能性もあるか。

④2,800名の請願を踏まえ給食費負担軽減に向けた具体的な検討や財源確保の取組をしたのか。

⑤日野町として給食費の負担軽減を重要な子育て支援策として考えているのか。

答

①小学校の学校給食費に対する負担軽減交付金を中学校の給食費支援に充てることは認められていない。

②試算して研究したこと

はある。

③中学校の保護者にご負担いただいている給食費は、年間約2,000万円、その額を今後毎年継続して、町が補償することは、教育費全般にも影響してくる。

④請願項目には、無償化にすることだけでなく、「日野町の地元食材を活かし、安全で豊かな給食を実現すること」も挙げられており、町としましては、まず安全で安心できる給食の提供に努める。

⑤経済的に困りの家庭には、就学援助を実施しており、給食費は実質免除となっている。また、教育費全般では施設管理に多額の財源を要することから、中学校の無償化については、今後その財源確保について研究を進める。



問

燃油資材高騰による町内業者・福祉施設への影響と町の対応

問

①町は商工業者への影響をどこまで把握しているのか。業種別の実態調査の有無とその理由は。

②国・県の支援制度の把握状況と事業者等への周知方法、町独自の支援策の検討状況は。

③物価高騰に苦しむ事業者等への町独自の緊急支援の検討状況と、その考えは。

④福祉施設の物資不足対策として、共同調達や備

◆要望として

子どもたちへの投資は町の未来への投資です。子育て支援を重要施策とするなら、国の制度化を待つだけでなく、町独自の財源確保や負担軽減策を検討し、一日も早い中学校給食費無償化の実現に向けて取り組みます。

蓄拡大などの具体策の検討状況は。

⑤建設資材高騰による福祉施設整備への影響と、国・県への要望活動の状況は。

答

①全国的な状況と同様の傾向と捉え、国・県や関係機関からの情報により状況を把握しています。

②国では燃料価格対策や福祉施設・中小事業者への追加支援が検討されています。県では新たな融資制度を設置されました。国の動きを踏まえ、必要な対応を検討されています。

③町独自の支援については、国・県や近隣自治体の動向を踏まえ検討する。

④民間事業者及び関係団体等との応援協定の締結において対応していると

◆要望として

現場では事業者や福祉施設が大きな不安を抱えています。日野町には、国や県の動向を待つのではなく、実態を把握し、先手を打って必要な支援策の検討と県・国への働きかけを行うよう要望します。



問 騒音・低周波公害の訴えとその対策

答 騒音は基準内、低周波公害は双方の協力必要



かとう かずゆき
加藤 和幸 議員



問

「夜中に断続的に工場騒音が聞こえ、よく眠れない。低周波公害ではないか」との訴えを聞いた。ただ、感じ方には個人差があるようだ。

鳥居平、中之郷、佐久良の3集落10人余の有感者は、騒音は夜中と早朝がひどい。寝ていても目が覚める。直近の安部居団地の方は一晩中うるさいので、以前町の広報に投稿し、測定にいられたが改善されていない。

発生元と思われる工場を訪問して住民要望を伝え、対応を伺うと、①基準は守っている。②個人差のあるお話で、町で集約いただければできることはさせていただと回答がありました。

これらを踏まえ、①直近地住民の投稿内容とそれへの町の対応（測定日時、場所、測定方法、回数など）および結果の概要を伺う。

②低周波公害との声もあるが、町の受けとめ、その定義・測定の可否等を伺う。

答

①令和5年11月に投稿を受け、町において現地確認を行い、対応を求めた。騒音測定については、事業所により敷地境界で測定され、その結果は基準内とのことであった。また、対策として一部の排気口の閉鎖と防音ドアの付け替えを行ったと、事業所から投稿者に説明した、このことで町から説明はしていない。

②低周波公害の解決には、対象を把握し、原因の特定に向けての調査が必要。低周波公害は、法令に基づく規制基準がないので、解決に向けては、双方の協力が必要と考えている。測定の経費については、測定器が数百万円することから借りられないかと考えている。また、客観的な数値を立証するには、国家資格を持った方の測定になること

から、どのような方法で進めていくのか検討する。

問 林業センター休日貸室停止について

答 年度途中から利用できるよう努力したい

問

日野町林業センターの指定管理者は、昨年12月定例会議で引き続き、滋賀県森林組合となった。今までは、土日等のセンター業務は停止でも、ホールや研修室の利用は可能で、それが継続されると思っていた。

ところが、今年度から貸室等も含め休日は全面閉館となった。三年前まで利用できた勤福ホールに続いて、役場近辺の30〜50人規模の収容施設が土日等においては、わたくしむきホール、日野公民館ぐらいいしか利用できないことになった。しかも3月の張り紙で利用者に初めて伝わった。

①その経緯と理由を伺う。

から、どのような方法で進めていくのか検討する。

②昨年12月時点では協議されていなかったのか。

③近年のセンター休日にあけるホール、研修室等の利用実績を伺う。

④休日利用可能な他施設の空き状況を伺う。

答

①従来から条例で土日と祝日を休館日と定めているが、指定管理者の努力で貸室利用を可能にできた。しかし、管理費用が赤字で休館にしたいと相談があった。町は協議をしたが、閉館は止められなかった。

②このことは昨年10月の選定委員会で要望された。12月定例会議時点でわかっていたが、選定にかかった内容ではないかと思いい、説明しなかった。

③休館日における貸室利用はこの3年で199件（平均すると毎週1件余）。今までからよく利用していた団体などに休館につ

いて意向を聞くことはしていない。

④直近5月に勤労福祉会館101および201会議室が両方とも埋まっていたのは1日のみ。わたくしむきホール虹のふれあいホールの土日稼働率は50%程度、会議室や研修室は土曜の定期利用が多いが日曜は比較的空いている。日野公民館の土日の利用は比較的多い。

なお、林業センター休館日の貸室については、利用可能となる方向で努力したい。

から、どのような方法で進めていくのか検討する。



問 日野町結婚新生活支援補助金の制度利用拡大にむけて

答 近隣市町の状況を調査しながら検討してまいります



ゆの き き く お
柚木 記久雄 議員



問 役場から発表される集落別人口の集計表をみていますと、この町の人口が年間200人のペースで減少しています。200人の人口規模は村井西之宮町や、蓮花寺、清田、中之郷、十禅師などの地区が該当します。

人口の減少はチェーン店の撤退や銀行店舗の減少となり、ひいては町の商工業の体力低下にもつながります。

そこで結婚新生活支援補助金について質問します。①補助金の趣旨と制度の説明②今までの利用件数と問合せを含めた利用者像はどうか③各市町に同じような制度があるので補助金の増額や条件緩和など日野町独自の取り組みがでないか④令和8年度の周知方法など取組内容はどのようなのか。

答

①婚姻に伴う新生活にかかる住宅取得費やリフォーム、引越

費用など経済的負担を軽減する制度で、夫婦所得500万円未満の方を対象に年齢により30万円または60万円を上限に補助する制度です。

②令和6年度は住宅取得に1件、7年度は引越費用に2件を交付しました。結婚を機に町内で新生活を始めるご夫婦が利用されました。

③ご提案いただいた補助金の増額や所得制限の条件緩和については新たな町の財源が必要となることから近隣市町の状況を調査しながら検討します。

④婚姻の届出をされる際に窓口で案内するとともに町や県のホームページで情報発信しているが、今後はより幅広い媒体での情報提供も検討してまいります。

◆要望とつら

世代別平均年収から考えると500万円未満の所得者は全体の3割程度しかなく、若い世代の地域への定住を増やすには思い切った対策が必要と考えます。

問 綿向山冬季登山者の交通手段を考える

答 既存公共交通を活用したパークアンドライドの周知に努める

問 綿向山は現在綿向生産森林組合の大規模伐採作業のため竜王山コースを除く登山コースが閉鎖されていますが、令和9年から表参道コースを含め通行が再開されると聞いています。少し早いですが、冬シーズンにむけてそのアクセスについて伺います。

伐採工事開始前の綿向山は手軽に雪山登山を楽しめると、樹氷と「綿向ブルー」と呼ばれる降雪後の青空を求めこの時期の祝祭日には一日あたり200名程度の来訪者が県内外からありました。そのため西明寺地区に近い3カ所ある御幸橋駐

車場が満車状態となり、冬道装備をしてしない県外ナンバー車のスタックや周辺県道や生活道路への違法駐車が行き、そのことから救急車・消防車が地区内に入れないという不安の声がありました。閉山前の何シーズンかは、役場はじめ関係者の方々が早朝に積雪後の交通整理に当たっていたのだいたとこです。

答

令和5年2月にパークアンドライド方式により運賃無料で実証実験を実施し利用者は延べ178人と一定のニーズを確認したところ

です。一方でバス運行事業者からは有料運行は採算性の観点から困難と回答を得ています。自然現象なので天候にも左右されます。今後も冬季登山者への対応のあり方を研究してまいります。

問 結婚支援の充実について

答 若い世代の出会いの機会を広げる取組みを進めたい



なかにし けい こ
中西 佳子 議員



問

若い世代がいつまでも日野町に住

み続けたい。また、他市町の人も日野に住んでみよ

うかなと思ってもらえる

町でありたいものです。

そこで結婚に関係する町

の支援施策について何点

か伺う。

①婚活支援事業について、

昨年度は2団体が婚活支

援事業を実施されました。

町には「クラブキュピド

ン」がありますが、活動状

況や問題点を伺う。

②結婚応援補助金事業の

周知は十分なのか。

③日野町の婚姻数の推移

について、現状分析や町

の見解は。

④婚姻届について、結婚

を決めたお二人を温かく

祝福し、思い出となるオ

リジナル婚姻届を作成さ

れている自治体が増えて

いるが、町の見解は。

答

①2団体と意見交

換を行い、女性参

加者が少ない、事業運営

への心理的ハードルが高

いことが課題となった。

クラブキュピドン主催事

業は出来ていないが会員

向けに婚活イベントの情

報提供している。

②結婚応援補助金の交付

実績は4件。ターゲットに

情報が届くように、SNS

など利用者がアクセス

しやすい情報発信に努め

る工夫が必要と考える。

③町の婚姻数は婚姻届を

受理した件数で、町に住

所がない方も含まれるが、

令和6年度60件、令和7

年度40件と減少している。

若年女性の人口減少や男

性の未婚率が全国平均よ

り高いことが要因と捉え

ている。若い世代の出会

いの機会を広げる取組み

を進めたい。

④オリジナル婚姻届の作

成については、デザイン

作成費用の課題もあり、

費用対効果、フォトスポ

ット設置を含めた周辺施

策と組み合わせ検討した

い。



問 幼児教育・保育の充実について

答 保護者や保育現場におけるニーズ等調査し最適

問

総合計画の中で

は、日野町幼児教

育研究会を中心に、研修

や園内研究を進め、保育

の質の向上に努めるとと

もに、様々な保育ニーズ

に対応できる保育サービ

スの充実と施設整備等に

努めます。としている。

現在、町では幼児教育保

育施設の再編整備が進め

られている。幼児教育・

保育の充実について何点

か伺う。

①保育所における食育は

生涯にわたる食を営む力

を培うため重要といわれ

ている。町の公立保育所、

認定こども園での食育の

取り組みを伺う。

②栄養士が、保育所等の

給食の献立検討等の対応

をされているが、アレル

ギー対応や調理師との連

携は十分なのか。

③「おむつのサブスクリ

プシオン」について、保

護者がおむつに名前を記

入する手間が減り、保育

士も個々の仕分け時間が

軽減できる等いわれてい

るが、町の見解を伺う。

答

①各園では様々な

経験を通じて、園

児が「食」に関する興味

や関心を持てるよう、

日々食育に取り組んでい

る。園児や保護者に対し

「早寝・早起き・朝ごはん

」の大切さを伝えてい

る。また、その日の給食

の献立を写真やイラスト

で掲示し、調理中の匂い

と相まって、園児たちは

給食を楽しみにしてくれ

ている。五感で感じられ

る町独自の食育を大切に

していきたい。

②アレルギー対応の申出

があるお子様は、医療機

関を受診いただき「管理



指導票」を作成、これを

基に園長、養護教諭、調

理師、福祉保健課の管理

栄養士が、協議し、個別

対応を行っている。

③おむつのサブスクにつ

いては、これまでの取組

みをさらに一歩進めるも

のと考えますが、導入に

ついては、費用負担のあ

り方や町内私立園との調

整など課題等もある。保

護者や保育現場における

ニーズ等調査し町の実情

に見合った最適なサービ

ス内容を研究したい。

議員のうごき

4月

- 3日 東近江地区交通安全決起大会 総務常任委員長、議会運営委員長
- 6日～15日 春の全国交通安全運動街頭啓発 📷 議員全員
- 9日 町立小学校入学式 📷 各小学校区議員
- 15日 東近江土木事務所長、道路課長面談 議長、産業建設常任委員長
- 20日～21日 市町村長等・議会議員特別セミナー 福永、野矢
- 22日 蒲生郡町村議会議長会定期総会 議長、副議長
- 28日 日野町女性農業者座談会 錦戸、松田、中西



5月

- 1日 第97回「日野地区メーデー」 松田、加藤
- 2日 日野祭宵宮見学、都市間交流懇談会 📷 議長、副議長
- 12日 南比都佐小学校6年生議会見学 議長、副議長、総務常任委員
- 15日 第38回日野第二工業団地企業協議会総会 議長、中西
- 20日 (仮)国道307号安部居バイパス現地視察
議長、副議長、産業建設常任委員会委員長・副委員長
- 21日 日野町商工会第66回通常総代会 議長、産業建設常任委員会副委員長
- 25日 日野観光協会総会 副議長
- 26日 令和8年度町村議会議長・副議長全国研修会 議長、副議長
- 26日 日野川改修期成同盟会定期総会 産業建設常任委員長
- 27日 国道307号改良促進協議会総会 副議長
- 28日 県道西明寺安部居線改良促進期成同盟会総会
産業建設常任委員長、高橋、加藤、後藤
- 31日 西大路幼稚園お別れ会 📷 総務常任委員長、野矢、山本



6月

- 5日 第56回日野中学校体育祭 📷 副議長
- 6日 第61回滋賀県消防操法訓練大会操法練習開始式
議長、副議長、総務常任委員長、錦戸、川東、松田、柚木
- 9日 政策立案・政策提言研修会 議長、議会力向上特別委員
- 14日 第44回日野町消防団ポンプ操法訓練大会
議長、総務常任委員会委員長・副委員長
- 20日 南比都佐幼稚園お別れ会 📷 議長、柚木
- 25日 日野小学校6年生議会見学 議長、副議長、総務常任委員、西澤
- 26日 第73回日野地区労働組合協議会定期大会 松田、山本、加藤



議長公務 日野町議会議長、滋賀県町村議会議長会会長、全国町村議会議長会副会長公務として 26件
その他

一部事務組合(東近江行政組合議会／八日市布引ライフ組合議会／中部清掃組合議会)などがあります。

国道307号安部居バイパス(仮称)の実現にむけて

去る5月20日、国道307号安部居バイパス(仮称)の実現に向けた現地視察が行われました。当日は県庁担当課や東近江土木事務所の幹部、地元県議会議員、当町からは副町長をはじめ建設計画課、議会からは議長、副議長、産業建設常任委員会委員長、副委員長が参加しました。

この計画は国道307号安部居地先の(株)ダイフク進入路付近から大谷運動公園付近までの約2.8kmの区間に新たな道路を建設し、バイパス化するものです。慢性的な交通渋滞緩和に加えて、冬季における道路環境改善の必要性があります。「道は血管、交通は血流」その言葉の意味を再度認識し、計画実現にむけて日野町議会でも前向きに研究を進めていきます。

▶現地視察の様子
(株)ダイフク進入路付近



議長コラム

議長 杉浦 和人



貴重な文化財を
次世代へ

日野町は「近江日野商人と花のまち」「歴史・文化のまち」として、町の魅力を広く発信し続け、令和6年には『めぐみ・もののふ・にぎわい・いのり』を柱とした日野町文化財保存活用地域計画を策定し、歴史と文化を未来へつなぐ取り組みを進めています。5月3日の『日野祭』をはじめ、当町には国・県・町指定文化財が91件あり、豪華な曳山は町の誇りとして多くの人々に親しまれています。

しかし、文化財の保存や修復には多額の費用が必要であり、管理に携わる方々の負担も年々増加しています。日野町としても国や県に対し支援を強く求めており、議長としても直接、滋賀県知事へ支援を要請しました。貴重な文化財を次世代へ確実に引き継ぐことは、今を生きる私たちの大切な責務です。

例えば「奈良県の国宝・重要文化財の建造物修復」や「彦根市の彦根城・玄宮園の高橋(たかばし)改修」、「京都市の町家保存・修理」のように、クラウドファンディングを活用し、広く関心と支援の輪を広げる取り組みも重要であります。

引き続き、関係者の皆様と共に、地域の文化財を守り未来へつなぐ活動を着実に進めて参ります。

9月定例会議(本会議)のお知らせ「予定」

9月1日(提案説明) 11日(質疑)

14日・15日(一般質問)

29日(委員長報告・採決)

「議会だより」へのご意見を
お寄せください

皆さまからいただいたご意見を反映し、分かりやすく読まれる議会だよりにしています。



二次元コードを読み取り入力してください。また、メールや手紙、ハガキ等でもご意見を受け付けています。宛先は、裏表紙の下をご覧ください。

編集後記

議会だよりをお読みいただき、はがきや二次元コードから毎号2〜3通のご意見を寄せてくださり、心より感謝申し上げます。皆さまの声は編集に携わる7名の委員にとって大きな励みです。「町民の皆さんの要求に応えられているか」「どうすれば手に取って読んでいただけるか」を毎回話し合い、工夫を重ねています。これから一人でも多くの方に議会の取り組みを知っていただけるよう、委員一同、より良い紙面づくりに努めてまいります。

松田 洋子

議員公務の一部を 紹介するにゃん



蒲生氏郷公顕彰会公認キャラクター
がもにゃん



5月12日に南比都佐小学校、 6月25日には日野小学校の6年生が 議会見学に来てくれました



子どもたちに「この町が好き
ですか?」と尋ねると、ほとん
どの子が元気よく手を挙げてく
れます。しかし「大人になってもこの町に住み続けますか?」
と聞くと手を挙げる子は少なく
なりました。後の質問にも皆の
手が挙がるような町にすること
が、私たち議員の役割だと改めて
思い直しました。



式典

日野観光協会の 総会に参加

5月25日、日野町林業センターにて日野観光協会の総会が40名余りの参加のもと開催され、議員も会員として出席しました。中村幸太郎会長のあいさつの後、議案書に基づき進められ、議員として参加した事業を振り返りながら、町のさらなる発展と活性化の一助として、観光協会の存在を改めて認識した次第です。町の観光事業に積極的に関わり、参加することの重要性を改めて確認しました。



日野町消防団ポンプ操法訓練大会

大会

6月14日、日野消防署にて第44回日野町消防団ポンプ操法訓練大会が実施され、関係する議員が出席しました。県大会出場チームの模範演技の後、ポンプ車の部4チーム、小型ポンプの部5チームの競技が行われました。地域の皆さんやご家族の応援の中、各チームとも訓練の成果を遺憾なく発揮され、充実した訓練大会となりました。



日野町議会広報

日野町議会 議会だより

◆発行／日野町議会 ◆編集／議会広報常任委員会

〒529-1698 滋賀県蒲生郡日野町河原一丁目1番地

☎0748-52-6551 Fax0748-52-2044

メールgikai@town.shiga-hino.lg.jp



「議会だより」に関するご意見募集中！書式は問いません。議会事務局へ郵送・メールまたはご持参願います。